



5年 組 名前()

保護者サイン

教科	学習内よう		チェック					
国語①	今回の学習	なまえつけてよ						
	今回の宿題	日記、音読、残りの感想文、ドリルの王様p.8とp.10(p.90の答えを見て○つけもする)						
	次回の学習	なまえつけてよ、春の空						
国語②	今回の学習	興、報、容、経、逆、構						
	今回の宿題	漢字ノートに漢字テストの答えを3回ずつ書いてくる(送りがなもしっかり)、漢字の学習の残り						
	次回の学習	比、刊、効、許、可、河						
算数	今回の学習	直方体と立方体の体積						
	今回の宿題	ドリルp.8-9(答えp.4を見て○つけもする)						
	次回の学習	小数のかけ算、単元テスト(整数と小数、直方体と立方体の体積)						
理科	今回の学習	植物の発芽(教科書p.18-25)						
	今回の宿題	ドリルp.3(1のみ)、p.4(2はやりません)						
	次回の学習	発芽と養分(教科書p.26-29)						
社会	今回の学習	世界の中の国土(教科書p.18-23)						
	今回の宿題	教科書の音読、ドリルの王様p.3-4(p.93の答えを見て○つけもする)						
	次回の学習	世界の中の国土(教科書p.24-27)						
行事など	5月9・16日 こん談会 5月23日 オープンハウス、全体保ご者会							
音読表	◎最高 ○いいね △もう少し ×がんばって	日	月	火	水	木	金	読んだ本の題名(何さつでも)
	気持ちをこめて読めた							
	大きな声で読めた							
	ゆっくり、はつきり読めた							
	聞いてくれた人のサイン (おうちの人、友達)							
その他	・日記ファイルを配りました。先生に見てもらった日記は、きちんと日記ファイルに として管理しましょう。前期が終わるころ、日記ファイルを集める予定です。 ・帰りの会で書いている作文も、日記ファイルにとして管理してください。 ・プロフィールは、5月23日のオープンハウスのときにけいじします。ていねいに 書いて出しましょう。							保護者より



西大和学園補習校五年
漢字テストはんい

4	5月2日 配布 5月9日 テスト
①	きょうみ 興味
②	ほうこく 報告
③	ようき 容器
④	けいゆ 経由
⑤	ぎやくふう 逆風
⑥	こころがまえ 心構え
⑦	こうぎょう 興行
⑧	つきひをぐる 月日を経る
⑨	さかあがり 逆上がり
⑩	こうせい 構成

西大和学園補習校五年
漢字テスト

名前	
①	きょうみ
②	ほうこく
③	ようき
④	けいゆ
⑤	ぎやくふう
⑥	こころがまえ
⑦	こうぎょう
⑧	つきひをぐる
⑨	さかあがり
⑩	こうせい

○次の語句の読み方を書きましょう。(教科書18～23ページ)

1	下流	
2	低地	
3	海面	
4	堤防	
5	水害	
6	揖斐川	
7	長良川	
8	木曾川	
9	高波	
10	輪中	
11	治水	
12	水屋	
13	排水機場	
14	水門	
15	台風	
16	洪水	

水屋で助かる

松東 日紫書 愛子

日中生暖かい^{いっ}風が吹き、雲はちぎれて飛んでいくような速さで北々西に走っております。テレビはまだなく、ラジオの情報を聞いて台風^{そな}に備えておりました。午後7時に、有線放送を通じて時報、ニュース、お知らせが行なわれて、そのお知らせの中で「台風18号は^{しるのみぞ}瀬戸へ向っています。満潮時は午後10時です。皆さん、充分注意して下さい。」とのこと。それを聞いて、私は心配になり、堤防へ様子を見に上って行きました。すると、まだまだ下の方にあるべき水位が、堤防の上から手を伸ばせば届くところにきているではありませんか。

「これは大変、10時までにはとても堤防がもたない。」と思いましたので、皆を^{うなが}促して逃げることにしました。母は「家を空にしては出られない。」といていましたが、皆一緒に行動をとった方がいいからと、それぞれに冬服を着せ長靴をはかせて逃げました。皆が私の命令によく従ってくれました。

その時はまだ雨も風もあまり強くはありませんでしたが、木曾川の堤防^{ていぼう}沿いに住んでいて^{つなづ}常々思っていたことが頭の中を走ります。もしも堤防が^{きんたん}寸断されたらどうしよう、とにかく堤防から離れなければと。幸にも近くに昔ながらの輪中の型をとどめる^{たにまくら}横溝蔵の堤防があり、そこの旧家の水屋へと逃げました。

もう何人かの人達がその水屋へ集まっていました。しばらくして、「堤防が切れたー」という声と水とが一緒に水屋まで押し寄せて来ました。ソレツとばかりに^{はしほ}梯子を伝って屋根裏へ、最後の人は水に突き上げられて^は這い上ってきた位の速さでした。ゴオーという音、オーイと呼ぶような声、時々^{いんづま}稲妻のような光、不安と不気味さと戦ったこの一刻……。これが私にとって夜でよかったと思えました。もしも^{いんづま}屋間であったなら、あの恐しい何時間かの出来事が目に焼きついて、忘れ去るのにどれ程時間がかかったことでしょう。何も見えなくてよかった、と思えました。

明るくなるのが待てなくて、時刻は午前3時頃でしょうか、手さぐりで降りて皆それぞれに思う方向をじっと目をこらして^{なみ}眺めました。ポオーと光が入ってきます。本当なら、家々の屋根があり木々が^{うっ}跌るはずなのに、その明りが遠いのか近いのか、たえようのない心のさわぎです。だんだんはっきりしてきて確められたのは、名古屋港の船の灯でした。家もなく、堤防もなく、一面海でした。その時の気持は今だに書き表わすことができません。

○今日のじゅ業で学んだことや、感じたこと、考えたことを書きましょう。

植物の発芽

年 月 日 5年 組 名前:

種子はどのような条件がそろって発芽するのだろうか。
条件を整えて実験して確かめよう。

1. 種子が発芽するために、水が必要なのだろうか。

変える(調べる)条件	変えない(同じにする)条件		結果
	水	空気 温度	
あり	あり	同じ温度の所に置く。	
なし			

2. 種子が発芽するために、空気が必要なのだろうか。

変える(調べる)条件	変えない(同じにする)条件		結果
	空気	水 温度	
あり	あり	同じ温度の所に置く。	
なし			

3. 種子が発芽するために、温度が必要なのだろうか。

変える(調べる)条件	変えない(同じにする)条件		結果
	温度	水 空気	
室温(20℃くらい)に置く	あり	あり	
冷蔵庫(5℃くらい)に置く			

実験1, 2, 3 の結果から、発芽に必要な条件についてわかったことをまとめよう。

☆ 教科書32ページの実験で使うので、発芽したものはそのまま育てましょう。

1 天気と情報(1)

天気の変化

組

名前

1 次の文の () の中にあてはまる言葉を書き入れなさい。

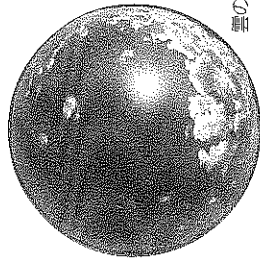
知識・理解

各10点×2

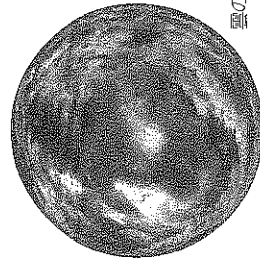
天気を決めるとき、空全体を10として、そのうち雲のしめる量が

0～8のときは ()、9～10のときは ()

と決められている。



雲の量 3



雲の量 9

2 雲のようすを観察するとき記録しておくことを、次の中から

技能

各5点×2

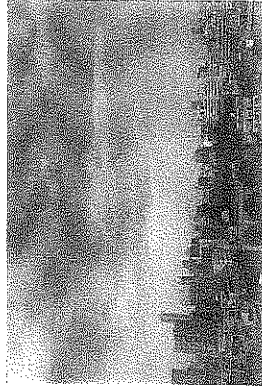
2つ選び、() の中に○をつけなさい。

() 空全体のおよその雲の量を記録する。

() 雲のあつさを記録する。

() 雲の動くようすを記録する。

() 空全体の雲の数を調べて記録する。



3 天気と雲の関係について、次の () にあてはまる言葉を下の□から

選んで、書き入れなさい。

知識・理解

各10点×3

天気は、雲の () がふえたりへったりすることや、雲が

() ことによって変化している。また、雲にはいろいろな

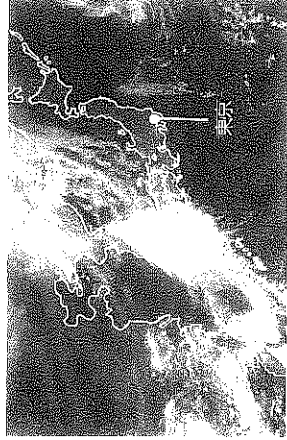
() があり、なかには雨をふらす雲もある。

動く 量 もよう 種類 とまる

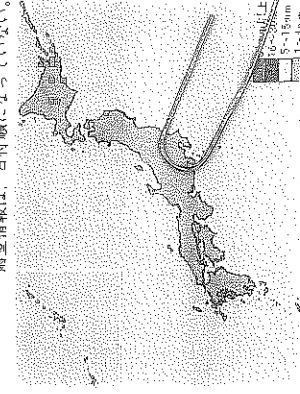
4 天気の変わり方を調べました。次の問いに答えなさい。

思考・表現

雨量情報は、日付順になっていない。



4月23日 正午の雲画像

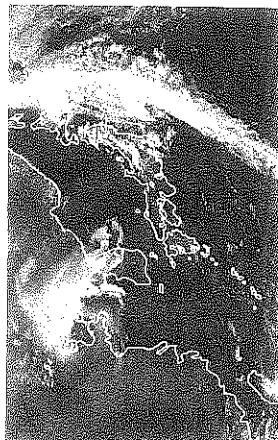
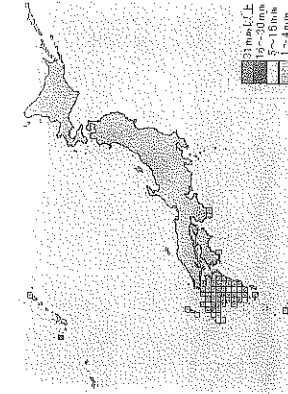


ア



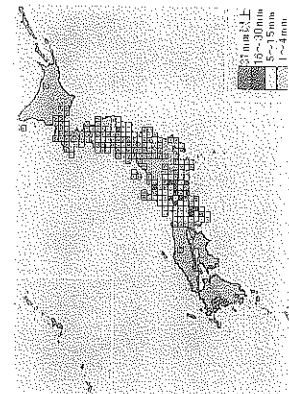
4月24日 正午の雲画像

イ



4月25日 正午の雲画像

ウ



①上の右図のア、イ、ウは、4月23日、24日、25日の午前11時～正午の1時間の雨量を表しています。日づけの順に記号を書き入れなさい。

() → () → ()

各10点

②上の気象情報をもとに、4月26日の天気を予想します。() の中にあてはまる言葉を書きなさい。

各10点×3

このころの日本の天気は、およそ () から () へと変わっていき、同じように雲が動いていくとすると、4月26日の東京地方の天気は () だろう。